

## 私の個展

《 一番気に入っている作品を所望されたらどうする？ 》

2011 / 10 源馬和寿

絵を始めて約21年になる。11年目に最初の個展を開催した。初めての個展を決心するとき私が気になったのは、「自分の一番気に入っている作品を所望されたらどうする？」ということだった。

私はその頃、「人様に自分の絵を販売する」などとはとても思っていなかった。当時師事していた画家のI先生に「そろそろ個展をやったらどうか」といわれた時に、この事が一番気になった。自分の絵にちょっと自己満足もする頃なので、仕上げた作品には思いも強い。個展とはいえ人に譲るのは何となく気が進まないのである。その時、私の悩みにI先生がいわれたことは：

- ・ 所望されたら、その絵はその方が出会った大切な絵だと思って感謝してその方に譲りなさい。
- ・ ただし無償で譲ることはよくない。絵具・キャンバス・額などの費用ともう1枚絵を描く元気代を頂きなさい

要するに「譲ってあげれば喜ばれ更にもう1枚新しい絵が描けるではないか」ということである。その言葉で気が楽になり、10年前初めての個展を大山の麓にある「大山現代の美術館」で開催した。多くの仲間、友人が訪れてくれた。今思えばまだまだ未熟な作品だったのだが、友人が絵を何枚か購入してくれた。

以来、個展を約3年毎に開いて今年で3度目となる。これまでの経験からの実感だが、個展とは一同に並べた自分の作品の‘いま’を、期間中につくづくと自ら見つめる絶好の場である。また、私の絵だけのために訪れた多くの人の評価にさらされるのだから、考えてみればこれ以上厳しい発表の場は無い。この厳しさの中で自分の絵をあらためて見直し、次への課題を見つける場でもある。個展に備えて選び抜いた絵を購入頂いたときには、今でも、その絵が一番喜ばれるところに納まることに感謝し、更にもう1枚絵を描く元気を頂いたという気持ちを大事にしている。

(個展案内状)



「北フランス港町」油彩 F10号 源馬和寿\*

第3回

## 源馬和寿 絵画展

- 旅からの風景 欧州編 -

会期：2011年7月2日(土)~17日(日) 10:00~16:00

会場：ギャラリー楓 16日(土)は~14:00

(秦野市菩提214 0463-63-2330 <http://www.ef22.com>)

※先の東日本大震災のため延期しました個展を  
あらためてご案内申し上げます。

\*日本美術家連盟会員、たぶろう美術協会会員、伊勢原美術協会会員、香港國際國際油彩研門副主席

個展会場入口 (秦野郊外のギャラリー)



会場レイアウト (部分)

